

- 「今月の主な紙面」
2. 原水禁世界大会、わんこにゃんこ、県連学運交のお知らせ
 3. 医療活動交流集会、私のお気に入り、4コマまんが
 4. 研修医日記、相談室、パズル



愛知県民主医療機関連合会
 〒456-0006 名古屋熱田区沢下町9番3号
 ☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
 発行責任者 武田 修三
 URL : https://www.aichiminiren.jp/
 E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp
第482号



愛知民医連 全議案を採択 第47回定期総会を開催

堀井会長は会長あいさつで、この1年間の悔しかったこと、うれしかったこと、にふれて情勢と取り組みを紹介し、2つの柱の実践を呼びかけられました。

悔しかったことは、ウクライナなどの難民キャンプへ非人道的な攻撃が行われたこと。訪問介護報酬が引き下げられ、介護養成学校も廃校し介護士が足りず現場が大変なこと。

入管法が改正されて難民申請は3回までとされ、税の未納や犯罪などを理由に永住権のはく奪もできるようにされた。明らかな人権侵害だ。

うれしかったことには、①大阪地裁の水俣病勝訴判決は民医連の診断基準が認められ、原告全員を被害者認定し、国に賠償を命じた。私たちの努力が実った。②最高裁で旧優生保護法の被害を受けた原告の方に対して、

堀井会長は会長あいさつで、この1年間の悔しかったこと、うれしかったこと、にふれて情勢と取り組みを紹介し、2つの柱の実践を呼びかけられました。

悔しかったことは、ウクライナなどの難民キャンプへ非人道的な攻撃が行われたこと。訪問介護報酬が引き下げられ、介護養成学校も廃校し介護士が足りず現場が大変なこと。

入管法が改正されて難民申請は3回までとされ、税の未納や犯罪などを理由に永住権のはく奪もできるようにされた。明らかな人権侵害だ。

うれしかったことには、①大阪地裁の水俣病勝訴判決は民医連の診断基準が認められ、原告全員を被害者認定し、国に賠償を命じた。私たちの努力が実った。②最高裁で旧優生保護法の被害を受けた原告の方に対して、



堀井会長

愛知民医連第47回定期総会が、7月13日(土)に労働会館本館会議室にて開催されました。加盟事業所より代議員定数65名中、64名(実出席53名、委任状11名)の出席(99%)でした。

はじめに、小岩副会長が開会あいさつし、総会議長に佐藤詩子(北医療生協)・竹内さやか(名南会) 両代議員を選出して議事に入りました。

国に賠償と謝罪を命じる判決が出されたこと。③収容者が治療を要望しても応じられずに亡くなった名古屋屋入管で、医療が必要な収容者の診療を名南病院に要望が出されたこと、④外国人の医療や炊き出しに参加し、治療が必要な方に受診の機会を広く提供したとして、愛知県弁護士会人権賞が早川医師に送られたこと、⑤PFAS汚染の解明改善で、北医療生協、尾張健友会が住民運動に寄り添い先頭に立って取り組まれたこと、⑥医学生対応で多くの奨学生が生まれたこと、をあげて紹介しました。

続けて堀井会長は、民医連の事業所が地域から信頼されるにはどうしたらいいのか、と問いかけ、2つの柱——無差別平等の医療介護、医療介護の質の向上、の実践を強調されました。

昨年の学術運動交流集会でケアマネジャーやケースワーカーの方から、困っている方に向き合えよう話を聞いて、必要なら行政の力も借りて手を差し伸べることが報告され、2つの柱の実践の大切さが分かった。県連では職員育成委員会も立ち上がり、職種を超えた2つの柱の実践を進めていきたい。本日の総会で運動方針が豊かになるよう討論

をお願したい、と結びました。

続いて、全日本民医連はじめ各県民医連から寄せられたメッセージが紹介されました。

* * *

総会議案の提案に入り、第1号議案Ⅱ2023年度

23年度の取り組みの成果などを討議

質疑・討論では7人の発言があり、2023年度の成果についての報告が多くありました。発言者と発言テーマは以下の通りです。

①森千穂代議員(みなと・協立総合病院)・・・石川民医連城北病院災害支援の報告

②吉岡優代議員(名南会・名南病院)・・・無料低額診療と名古屋市、行政との交渉経過について

③甲斐美矢子代議員(北・北病院)・・・血漿中PFAS濃度調査協力内容と住民検査結果、今後について

④長谷川綾平代議員(みなと・協立総合病院)・・・医学対を超えた医師養成の課題

のまとめと2024年度の運動方針(案)を武田事務局長が提案。第2号議案Ⅱ

武田事務局長

⑤小出治人代議員(名南会・本部事務局)・・・民医連運動を担う職員の確保と育成の取り組み

⑥長尾久志代議員(南・法人事業部)・・・個室料利用について

⑦金森久恵代議員(南・みなみ歯科診療所)・・・県連会費について

2023年度県連会計決算を西崎事務局長が提案しました。第3号議案Ⅱ2023年度県連会計監査は草深会計監査が報告。第4号議案Ⅱ2024年度県連会計予算(案)を西崎事務局長が提案しました。

すべての議案を採択

議案の採択に移り、第1号・第4号は賛成多数、第2号・第3号は満場一致で採択され承認されました。

民医連に加盟しているからこそ、前に進んでいける

——小南副会長が

閉会のあいさつを小南副会長が行いました。

PFASについて会長と北病院から報告があったがこの一年で民医連として一番の活動だった。自衛隊や国の姿勢によっては原因究明が困難なこともあると思うが引き続き一丸となって取り組んでいきたい。マイナ保険証問題では、12月に廃止になると大混乱が予想される。廃止させない取り組みを頑張っていきたい。

経営の問題では、名南会が地協からのヒアリングを受けているからこそのいろいろ指摘を受け改善して前に進んでいく。県連や全日本民医連に結集していくことがとても大切だ。学びながら県連結集し、愛知民医連全体を盛り上げていきたい、と結びました。

以上の議事で総会の全日程が終了しました。(県連事務局長・武田修三)

甲斐代議員

吉岡代議員

森代議員

小出代議員

長谷川代議員

以上の討論を受け、武田事務局長が、長尾代議員、金森代議員の質問にも答えながら、討論のまとめを行

長尾代議員

長尾代議員

長谷川代議員

武田事務局長

☆7月20日、原水禁世界大会に向けて事前学習会を行い6名が参加しました。8月4日(6日)の世界大会に職員・組合員合わせて15名が現地参加しました。新人職員や親子の参加が特徴的でした。報告会で学びを広げてもらいます。

☆高校生医師体験に5名参加。8月も実施予定です。

☆ほんわか食堂(子ども食

☆7月20日、原水禁世界大会に向けて事前学習会を行い6名が参加しました。8月4日(6日)の世界大会に職員・組合員合わせて15名が現地参加しました。新人職員や親子の参加が特徴的でした。報告会で学びを広げてもらいます。

☆高校生医師体験に5名参加。8月も実施予定です。

☆南生協の基本は「班」。新しい班が半田南支部に誕生しました。「ふらっとスペースならわ」という多世代が集える場所での第1回班会を開催。はじめてさん3人の参加もあり和気あいあいのひと時でした。

☆7月27日に理事会研修会が開催され第一四半期の進捗、今後の取り組みについて交流しました。

☆職員の平和へのメッセージカードを待合室に掲示。原水禁世界大会に新人歯科衛生士が参加しました。

☆8月理事会で全日本民医連評議員会方針案を学び、マイナ保険証でしか受診できないとの誤解が広がっていることや、介護保険証までも廃止する案に怒りの声が出されました。

☆7月31日に原水禁世界大会の壮行会を行い50名が参加。代表者5名に7千羽の折り鶴を託しました。

☆8月1日に小学生のための認知症サポーター養成講座を開催し、20名の親子が参加。高校生一日看護師体験や一日医師体験など、夏休み期間ならではの企画をたくさん実施しています。

☆ファルマネット

☆調剤報酬のDX加算でマイナカードによる保険証の利用率が加算条件になり、マイナ保険証お断りのポスターを掲示しています。従来の保険証廃止によるマイナカード利用強制反対の立場との矛盾に悩みつ、10月からも保険証使えますのアピールポスターを隣りに掲示しています。

☆7月20日、認知症についての市民公開講座を開催。尾関理事長や診療所看護師の講演など、オンライン視聴合せて160人が参加。

☆7月21日、高齢者複合施設かめじま内まのりビンゴなないる開放日に、同施設管理者の品川氏がフレイル予防の食事について話し、17人が参加しました。

☆7月20日、認知症についての市民公開講座を開催。尾関理事長や診療所看護師の講演など、オンライン視聴合せて160人が参加。

☆7月21日、高齢者複合施設かめじま内まのりビンゴなないる開放日に、同施設管理者の品川氏がフレイル予防の食事について話し、17人が参加しました。

☆7月31日に原水禁世界大会の壮行会を行い50名が参加。代表者5名に7千羽の折り鶴を託しました。

☆8月1日に小学生のための認知症サポーター養成講座を開催し、20名の親子が参加。高校生一日看護師体験や一日医師体験など、夏休み期間ならではの企画をたくさん実施しています。

☆ファルマネット

☆調剤報酬のDX加算でマイナカードによる保険証の利用率が加算条件になり、マイナ保険証お断りのポスターを掲示しています。従来の保険証廃止によるマイナカード利用強制反対の立場との矛盾に悩みつ、10月からも保険証使えますのアピールポスターを隣りに掲示しています。



名南

北

南

みなと

尾張

はみんぐ

2025年の被爆80年にむけ、核兵器廃絶の運動を広げよう

原水爆禁止2024年世界大会・広島大会に各法人が代表派遣



閉会総会で壇上に上がった愛知代表団のみなさん



北医療生協のみなさん

【北医療生協】
北病院総合サービスク
田井中 舜さん

広島の原水爆禁止世界大会に参加させて頂きました。被爆者の方々から直接お話を聞くことができ、どれだけ悲惨な出来事だったのかを知りました。

分科会では、似島へ行き、



尾張健友会、名南会、はみんぐのみなさん

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2024年世界大会・広島大会が8月4～6日に広島市内で開催されました。6日のヒロシマデー集会では、「希望の光」である核兵器禁止条約を力に、「核兵器のない平和で公正な世界」への道を切りひらくため、ただちに行動に立ち上がろう」と呼びかける決議を採択しました。

愛知民医連では、みなと医療生協、北医療生協、名南会、はみんぐ歯科、尾張健友会の各法人が代表派遣やオンライン視聴会に取り組みました。各法人の参加者に感想文をお寄せいただきました。一部ですが紹介します。

【尾張健友会】
本部長 西岡 成椰さん

参加者全ての願いは「世界平和」で共通であることが強く印象に残っています。分散会では碑めぐりに参加させていただき、ガイドの方から貴重なお話が聞けました。犠牲者の方の名前が刻まれた碑の前で、「ひとりひとりに名前があり、

これからの人生があるはずだった」というお話を聞き、生きた証として残していくこと、今後一切核兵器は使わなければならないということ、改め強く感じました。また、被爆者の方のお話を聞き、あまりの凄惨さと言葉を失いました。思い出したくないが、この悲劇を二度と起こさないために話していかなければならないと言われており、お話を聞いたことに大きな感謝を感じました。今も後遺症に悩んでいること、子供や孫が生まれるたびに影響はないか心配だということ、話をされており、まだ原爆投下の影響は終わっていない、この出来事を風化させてはいけないと感じました。

【名南会】
名南会健康推進室
今井 悠太さん

戦争が起こったとき、その被害をうけるのは誰なのか？核兵器が使われたとき、誰がその犠牲になるのか？その後の社会はどうなるのか？「世界大会」の最中、私たちが暮らすこれから先の未来について考えさせられました。

私は、自分が戦争に兵士としてあるいは医療関係者として巻き込まれ、傷つき、人としての尊厳を奪われ、その果てに命を落とすような未来は到底受け入れられません。自分の友人や家族、職場の仲間が同じ目に遭う未来も絶対に肯定したくない



折り鶴を献呈する今井さん (広島平和記念公園)

戦争や核兵器は、国や文化の違い、価値観や信条などの考え方の違いに一切関係なく「ただ普通に生きていくだけの人たち」を容赦なく襲います。「原水爆禁止世界大会」は立場を越えて世界中の人々と手をとりあい、戦争や核兵器に反対し平和な未来を目指すための集まりです。医療従事者として「どうすれば人のいのちを守る使命をまっとうできるのか？」今回とても多くのことを学びました。

【みなと医療生協】
みなと医療生協組合員
島田 郁世さん

被爆体験の話や、碑めぐりで被爆の実相の惨状を聴き、人類を滅ぼす原爆、核兵器は無くさなければと思えました。

中でも被爆当時の姿を残した慈仙寺の散乱した墓石の地面が残されており、平和公園をつくる際に周りの地面は盛土され墓石のある地面と差ができています。現在の平和公園の地面の下には、被爆された多くの方が今も眠っていると聞き、身が引き締まる思いでした。現在、被爆者の平均年齢は85歳と聞き、核兵器のない世界の実現のために、来年の被爆80年までに日本が核兵器禁止条約を批准する運動と世論を盛り上げる必要があると思いました。



みなと医療生協のみなさん

【はみんぐ歯科】
はみんぐ歯科
山田 衣織さん

被爆者の平均年齢が85歳を超えている今年の世界大会で、多くの中高生や新婦人の会のお子様方が参加をされており、原爆のことを後世に伝えていく意味のある大会だと感じました。

私自身も被爆者の佐久間さんのお話を聞き、被爆者のみではなく、被爆2世・3世にも影響があるということを知り、そのような思いでも後世にも影響を与える核兵器の非人道性を核保有国に訴える必要性を強く感じました。私も今回学ばせて頂いたことを伝えていきたいです。

第54回学術運動交流集会のご案内

5年ぶりの名古屋国際会議場での開催です。リモート配信はありません。昼食弁当用意します。午後は保育体制あります。

- 日時：2024年11月23日（祝・土）
9時30分受け付け開始 午前10時開会 午後3時半頃終了予定
- 会場：名古屋国際会議場（午前：白鳥ホール、午後：2号館）

（午前） 記念講演

「コスタリカ 『純粋な人生』 と言いあう 平和・環境・人権の先進国」

伊藤千尋さん
（国際ジャーナリスト、元朝日新聞記者）



（午後） 分科会

【分科会の演題募集】（詳細は募集要項参照）

- 「医療・介護活動の2つの柱」に沿った豊かな学術・運動の取組みが共有できる演題を募集します。
- 分科会構成を検討するため、演題カテゴリを1つ選択して、愛知民医連ホームページより申し込んでください。
申込期間は8月30日（金）～10月2日（水）24:00まで（厳守）
- 演題発表はパワーポイント使用で行って下さい。
（事前に法人担当者にデータ提出）

うちのわんこにゃんこ

私の家にはビションフリーゼとチワワのミックス犬が一匹います。ふわふわの真っ白い毛がまるで綿毛のようだったことと、男の子ということもあり、名前をわた朗と名付けました。わた朗はとても甘えん坊で、しっぽを振りながら身体を近づけ、足元までくるとお腹を見せると撫でてと大きな目を向けて訴



わかつり
わた朗
ビションフリーゼと
チワワのミックス
4才

わかば薬局大高店
薬剤師・笹尾 章悟

えてきます。その姿がとても愛らしく、家族全員メロメロです。臆病で過剰に吠えたり、おしっこを失敗することもありますが、とても愛らしいかけがえのない家族の一員です。

認知症の方への対応 専門家としての知識・技術、想像力を高め、信頼関係を

愛知民医連医療活動交流集会ひらく

県連医療活動委員
協立総合病院 診療放射線技師 堀場 勝義

7月20日(土)、愛知民医連医療活動委員会主催で、2024年度医療活動学習交流集会在金山・労働会館会議室にて開催され、4法人と県連事務局、医学生で46名が参加しました。

「認知症の方への対応について」をテーマに、田中清貴先生(全日本民医連理事・全日本民医連認知症委員会委員、福岡民医連親仁会理事長・みさき病院で認知症を中心に診療)に講演をしていただきました。また「医療生協さいたま生活協同組合 実践報告」として山田茂さん(全日本民医連認知症委員会委員、医療生協さいたま老人保健施設みぬま介護長)から現場報告をしていただきました。

認知症の方への対応を学ぶ
田中先生の講演では、認知症の方の診療経験からBPSD(認知症の行動・心理症状)への具体的な対応が語られました。

①記憶障害を指摘する
②うまくできなかったことを指摘する
③行動(思考)を制止する
④行動を強制する

であり、認知症の方の対応をしていくためには、上記のことをしないようにとの注意点ははじまり、①処方されている薬(治療薬・睡眠薬・抗精神病薬等)を疑うこと。副作用が多いため、薬の使用をやめるだけで改善することがある。

信頼関係を深めるために
コミュニケーションでは、認知症の方の見え方には特徴があり、視野から外れているとうまく言葉として理解できないこと、視野に入る位置にこちらから移動する必要があるので、言葉の速さと「間」に注意すること、ジェスチャーや表情も重要な手段であること等の大切さがわかりました。認知症の方は出来事との距離が不安定になり、順番が頻繁に入れ替わること、自身時間が移動していく(旅をしていく)ことでその都度周囲の人との関係も変わっていくことがあり、どの時間を旅しているのか考慮しながら、ぜひ対話を楽しんでいきましょう。対話することでお互いの信頼関係も深まることがあるとお話しました。臨



講演いただいた田中先生(オンライン)



現場報告の山田さん(オンライン)



熱心に学ぶ会場参加者



クリニックレインボー・齋田さん



千秋病院・武田さん



名南病院 板木さん

床で認知症の方とコミュニケーションと対話を重ねておられる経験からくるお話はとてわかりやすく、今後に活かしていきたいと思えます。

医療生協さいたまの山田さんからの現場報告では、老健みぬまでの取り組みが語られました。利用者主体で自主性を引き出し、やりがい・達成感をもってもらう壁面制作からはじまり、オレンジカフェ(認知症カフェ)の取り組みと課題、地域へのお出かけ、感染症時の対応の難しさ等、介護

の現場で常に認知症の方に向き合っている職種ならではの報告でした。人は限りなく個性が高く、他人のことは完全には分からないということ踏まえた上で、それでも利用者理解に近づいたために、専門職として知識と技術、想像力を磨いていくことが大切というまとめの言葉がとても印象に残りました。

各法人の演題発表と意見交流
続いて各法人から次の3つの演題が発表されました。
・みなと医療生協クリニックレインボー
・診療所で開催する認知症カフェ「くらしのセンターカフェぬくもり」の取り組み
・尾張健友会千秋病院認知症サポートチームの活動報告
・名南会名南病院病棟レクリエーション開始による患者への影響、レクリエーションを通して患者の心境の変化、各法人で様々な取り組み

まんがコーナー ②1

我が家のプリンターが壊れました。

いつ買った? 保証書を見ると...

保証書

2015

2019年前でした。

同じものが欲しくて家電量販店に相談すると

プリンターの寿命は5年くらいだよ。

と言われました

レポート

9年も頑張ってくれたプリンターに感謝です!!

尾張健友会の職員ご家族の方の漫画作品です。原案は、千秋病院介護保険サービスセンターの野村晶子さんの読者のひろば投稿です。



私は昔からお裁縫など細かい作業が好きで、生日プレゼントで作成したものです。

最近では女子力向上のため、友達や家族の頭が想像以上に大きくバケットハットのようなイメージでしたが、ニット帽のようになってしまいました(笑)。

休日には一日中やっている時もあり、これからは、個々に合うようなものを作りたいと思います。

この写真は最近友達との誕

協立総合病院 臨床工学課 池田 遥



心躍る ハンドメイド♪

がされていることを知ることができ、会場からの質疑応答で活発な意見交流ができました。

認知症カフェの参加型企画や病棟レクリエーション企画では参加者の皆さんの楽しそうな雰囲気が印象的でした。また、認知症サポートチーム(DST)の活動は他職種連携の大切さを実感できる報告でした。

今後の活動に生かして
いきいたいなどの感想参加者の感想からは、講演と現場報告はわかりやすく参考になることが多かった。活動交流では他の病院の活動を知ることができて良かった、今後の活動に活かしていきたいといったものが多く、認知症の方との関わりについて学び、おおいに交流できた学習交流会でした。

研修医日記

医師3年目として

初めまして。千秋病院
総合診療科専攻医1年の
藤原佑斗と申します。

出身は岡山県備前市と
いう小さな町で、その影
響もあつてか、元々地域

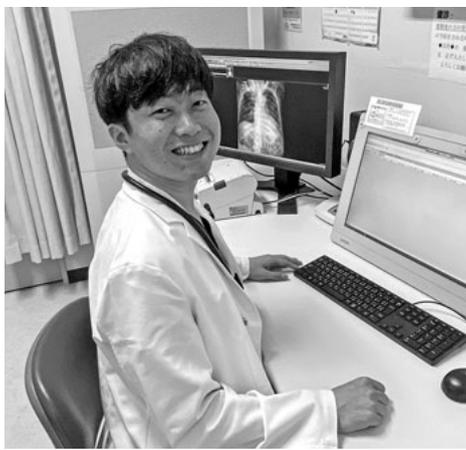
医療に興味がありました。
初期研修で岐阜県の郡上
市など、地域の病院で実
習を重ねるうちに

様々な病気を総合
的に診られる仕事
に魅力を感じるよ
うになり、総合診
療科を専攻するこ
ととなりました。

千秋病院を研修
先に選んだ理由は
書ききれないほど
ありますが、一番
は内科の専門が臓
器別で分かれてい

ない点です。この間、心
不全、臍胸、肺炎など多
岐にわたった疾患の患者
さんを実際に担当させて
もらっています。上級医
の先生に相談しながら、
治療方針を立て、経過を
見ていくことは、書籍で
勉強するだけでは得られ
ない一生の財産です。

千秋病院の職員の一人
として、チームで地域に
貢献し、患者さんに千秋
病院でよかったといつて
もらえるよう自分の持つ
力はすべて出していく
所存です。日々精進致し
ますので、ご指導ご鞭撻
のほどよろしくお願い申
し上げます。



千秋病院総合診療専門研修
藤原 佑斗医師
後期研修 (卒後3年目)

施設生活の中でも他利
用者や職員に対し被害妄
想があり、その都度話を
傾聴する等対応をとって
きました。本人や家族は
在宅復帰を希望してい
たので、短期集中リハビ
リを行うことができました。

リハビリも終了したこ
ろ、家族に在宅復帰の時期を
相談した時に外泊の相談
がありました。試行的退
所という在宅復帰前にお
試しで外泊することもで
きますが、2泊3日の在
宅生活後、わかばの里で
1か月のショートステイ
を利用する短期間の在宅
復帰を提案しました。1か
月のショート利用中は介
護保険の限度額内でリハ
ビリ回数が増やせること、
1か月後は入所へ切り替
わることを家族に説明し、
居宅ケアマネの協力も依
頼し在宅生活を送っても
らいました。

在宅生活の間は家族が
つきっきりで同居生活が
送れるのか見守りを行い、
「転倒の危険はあるが、
こだわりや被害妄想のあ
る本人には施設生活はま
た合わない、私たちも持
病や仕事があり十分に関
われないが、在宅サビー
スを整えてできるだけ長
く在宅生活を送ってもら
いたい。」と話されまし
た。本人の感想も「在宅
生活は良かった、楽しか
った。」と話され在宅生
活への希望がさらに強く
なりました。

完全に在宅復帰できる
ために引きつづきリハビ
リや、本人の意向と十分
に関わりを持ってない家族
の意向に添い、安全に在
宅生活を送れるよう、在
宅サビービスの調整を居宅
ケアマネと連携し支援を
行っていきたいと思いま
す。

生協わかばの里
介護支援専門員
中塚 春子



連載 ⑦

在宅復帰を行っている
わかばの里に、2024
年2月末に左大腿骨転子
部骨折後のリハビリ目的
と在宅復帰を希望され入
所された、90代女性T様
に行っている事例です。

T様はアルツハイマー
型認知症の診断を受けて
います。骨折をする前
は市営住宅で週2回のデ
イサービスと週1回の訪
問介護を利用し独居生活
を送っていました。ただ
T様はこだわりが強く理
解力の低下から、気が合
わないとトラブルになり
やすくヘルパーの交代も
数回あったようです。

家族に在宅復帰の時期を
相談した時に外泊の相談
がありました。試行的退
所という在宅復帰前にお
試しで外泊することもで
きますが、2泊3日の在
宅生活後、わかばの里で
1か月のショートステイ
を利用する短期間の在宅
復帰を提案しました。1か
月のショート利用中は介
護保険の限度額内でリハ
ビリ回数が増やせること、
1か月後は入所へ切り替
わることを家族に説明し、
居宅ケアマネの協力も依
頼し在宅生活を送っても
らいました。

在宅生活の間は家族が
つきっきりで同居生活が
送れるのか見守りを行い、
「転倒の危険はあるが、
こだわりや被害妄想のあ
る本人には施設生活はま
た合わない、私たちも持
病や仕事があり十分に関
われないが、在宅サビー
スを整えてできるだけ長
く在宅生活を送ってもら
いたい。」と話されまし
た。本人の感想も「在宅
生活は良かった、楽しか
った。」と話され在宅生
活への希望がさらに強く
なりました。

生協わかばの里
介護支援専門員
中塚 春子



お勧めの一冊です 名南診療所

医師 大森 久紀

中島京子さんの「やさしい猫」を読みました。入管問題にスルドク斬り込みながらハートフルなストーリーで涙無しには読めませんでした。お勧めの一冊です。

夏休み☆ 協立総合病院

放射線技師 中島 あゆ子

始まりました、夏休み☆
始まりました、お弁当作り！早起きして頑張るぞ？
(汗)

老健あんき

看護師 小川 美由紀

研修に行き始め、色々な事業所の看護師さんとお話しできて視野が広がります。

初クッキング

千秋病院

保育士 伊良皆 美香

予定のない休日、夏休み

老健かたらいの里

看護師 犬飼 広子

冷蔵庫でキンキンに冷えたスイカを食べるのが日課になってきてます。

暑い日々

看護師 犬飼 広子

冷感でキンキンに冷えたスイカを食べるのが日課になってきてます。

理事会報告

☆愛知民医連第47回定期総会(7月13日)が開催されました。1月におこった能登半島地震による石川城北病院への災害支援の報告や外国人医療含む無料低額診療事業と行政への働きかけの報告、住民の健康不安によるPFAS血液検査の取り組み報告、民医連の職員確保と育成の取り組み、中でも医師確保と養成への取り組みなどの実践報告がされました。



ぼうけ

出入りや通行のための道

日本の伝統芸能の一つ

たて1に似合う小物

〈クロスワード当選者〉

7月号、正解は「海遊び」。

応募総数27通で全員正解でした。次の方々が当選されました。

・水野愛さん
(名南ふれあい病院)

・塩野千聡さん
(千秋病院)

・大塚帆乃香さん
(尾張健友サービス)

〈応募要項〉

あて先は、〒456-0006 名古屋熱田区沢下町9-3 愛知民医連宛。

①こたえ、②事業所名、③

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

https://goo.gl/k5hZMy

7月26日第1回理事会
県連事務局長 武田修三

クロスを解いてA~Eに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

答え A B C D E

1		2		3		4
		5	6		B	
7	8					9
		A				
		10			E	
11						12
						13
			14		15	
16						17

(出題 北メンタルクリニック 事務 幅しのぶ)

【たてのカギ】

1 盆踊り、何着てく?

2 調味料のさしすせそ、そは何?

3 渋沢、津田、北里

4 食べ物や飲み物の香りや味わい

5 医師が患者を診察・治療すること

6 騎士

7 ○○○産業、○○○家具、○○○時間

8 生鮮食品分類の野菜と果物

9 豊橋名産といえは?

10 ウサギが餅をついてい

11 愛知県、焼き物のまちといえは、常滑と何処?

12 ○○角、○○針、○○

13

14

15

16

17

【よこのカギ】

1 草津温泉名物、見学や体験できます

2 通信用携帯の容器や袋

3 持って生まれた性質

4 ○○からばた餅

5 主に燃料、他に消臭や除湿、美容にも

6 信楽焼は滋賀県、美濃焼は岐阜県、佐賀県

7 愛知県、焼き物のまちといえは、常滑と何

8 処?

9 ○○角、○○針、○○

10

11

12

13

14

15

16

17